

ぼくたち私たちの

海を守ろう

岩美西小学校4年生は、総合的な学習の時間に、大谷海岸での環境調査を行いました。

そこで、大谷海岸にはプラスチックを含むたくさんのごみがあることに全員が驚きました。



タブレット端末を使って丁寧に調査しながら、砂の中のごみの種類を調べる4年生（大谷海岸にて）

このままこのごみをそのままにしておいたらどうなるのかと思いました。砂をよく見ると、とても小さくなった発泡スチロールやレジ袋の破片が見えました。魚や鳥など動物が食べたなら、命を奪うほどのよくないものです。人間の体の中に入ることもあると思います。



担任と拾ったごみを見て今後の活動を相談する（大谷海岸にて）



鳥取環境大学の学生より海ごみについて学ぶ（岩美西小にて）

このごみをなくすことがとても大事だと考えました。では、これらのごみはどこから来たのでしょうか。日本の岩美町ではないところからきているかもしれません。外国からもきています。蒲生川から流れてきたものや、大谷海岸に来た人が捨てたごみもあると思います。

と思います。

あたりまえ体操で

ごみを減らそう！

4年生は、海岸でみられるプラスチックごみを減らすために、「あたりまえ体操」を考えました。ごみ拾いだけするのではなく、楽しくごみを減らすことをみんなの当たり前にしていきたいと思っています。

COWCOWというお笑い芸人の方がやっている「あたりまえ体操」の替え歌です。みんなで歌って、楽しくごみを減らしていきます。

～あたりまえたいそう

海のゴミを減らそうバージョン～

あたりまえ あたりまえ あたりまえたいそう
レジぶくろをやめ バッグをつかうと ゴミへる
あたりまえたいそう
水とうもって 飲みもの飲むと ゴミへる
あたりまえたいそう
プラの Spoon と フォークをやめると ゴミへる
あたりまえたいそう
小さい服を 兄弟にあげると ゴミへる
あたりまえたいそう
ゴミをポイポイポイ捨てると ゴミふえる
あたりまえたいそう
もえるゴミと もえないゴミは 分けるよ
あたりまえたいそう
ゴミが減ると 環境がよくなるね

右：学習発表会で「あたりまえ体操」を披露する4年生



岩美ブルーを守りたい

おそうじカヤック 海ごみ実態調査

6年生は、9月に網代港からカヤックに乗って清掃活動を行いました。総合的な学習の時間で山陰海岸ジオパークに認定されている浦富海岸の魅力を知った6年生は、この海の素晴らしい景色を体感し、海岸のごみの実態を調査したいと思ったからです。



千貫松島周辺をカヤックで進む6年生

カヤックに乗った6年生は、カヤックから見える透き通るような海の透明度の高さや岩美ブルーの美しさに感動しました。一方で、カヤックから陸に下りた時、ごみがたくさんたまっていて、美しいと感じていた私たちの海のその汚さに大変驚きました。活動の最後には、6年生全員で分かれてごみの収集活動を行いました。集めたごみはなんと約15袋にもなりました。中でも外国の物やプラスチックの物が多かったです。

これらから、6年生はゴミを捨てるのと海の生態系に影響を及ぼすことを実感し、環境を大切にしなければいけないと強く感じました。ふるさと岩美町の素晴らしいさと海ごみの現状を知り、持続可能な美しい海にしていきたいと思えます。



千貫松島前のポケットビーチでの清掃活動



SDGs ってなに？ (Sustainable Development Goals)

今世界では、新型コロナウイルス感染症、気候変動、戦争・・・とこれまでなかったような数多くの課題があります。このままでは、世界中の人たちが安心した暮らしができません。世界中のさまざまな立場の人々が話し合って、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。これが持続可能な開発目標(SDGs)です。持続可能とは、何かをし続けられるということです。

SDGsには17個の大きな目標があります。岩美西小学校では、海が近いので「14 海の豊かさを守ろう」の活動が多いです。美しい私たちの日本海がいつまでも持続可能となるようこれから努力していきたいと思えます。

14 海の豊かさを守ろう

